



Data

監督・脚本：内藤隆嗣
出演：小手伸也 / 宮本裕子 / 広岡和樹 / ダイヤモンド ユカイ / 鷹赤兒

👁️👁️ みどころ

ぴあフィルム・フェスティバルから新たな才能が登場！モテない、無骨、野暮な漁師万造は、ひょっとして理学部数学科卒の27歳、内藤隆嗣監督そのもの？「女は誰もが侵入者だよ」のキザな言葉は、いかなるシーンで？本作にみる男・万造の生きざまとは？面白い小道具は、魚をかたどった女モノの髪留め。思わぬところからそれが登場するラストシーンを、あなたはいかに解釈？



橋口亮輔、矢口史靖らに続いて内藤隆嗣が

『ぐるりのこと。』（08年）の橋口亮輔監督、『ハッピーフライト』（08年）の矢口史靖監督、『かもめ食堂』（05年）の荻上直子監督、『アフタースクール』（07年）の内田けんじ監督らの共通点は？それは、PFFスカラシップ制度によって与えられる、「映画をつくる権利」を獲得して監督デビューしたこと。その栄冠を勝ち取るのは、ぴあフィルム・フェスティバルで入賞した監督の中からたった1人だけ。そして、2008年の第18回ぴあフィルム・フェスティバルでその権利を獲得したのが、『MID-NIGHT PIG SKIN WOLF』が入賞した内藤隆嗣監督だ。内藤監督は理学部数学科卒の弱冠27歳とのことだが、そんな内藤隆嗣監督の商業長編デビュー作が『不灯港』。

1904年に日露戦争が起きたのは、大陸への進出を狙う新興国日本と、東に不凍港を確保し南方への進出を目論むロシアとの利害が衝突したためだから、「不凍港」という言葉はよく知っているが、「不灯港」なんて言葉はあるの？内藤隆嗣監督は、なぜ今ドキのロクに漢字も知らない奴が書きそうな、当て字の不灯港をタイトルにしたの？それは、本作をみればきっとストンとあなたの胸に落ちるはず。

万造38歳、結婚願望は？

今ドキの若い男たちに草食系が増えていることはデータ上明らか(?)だが、同時に彼らは身の回りのことは何でも自分でできるから、「嫁さんが欲しい!」という結婚願望が少ないのが大きな特徴。その結果、今ドキは「婚活」などという奇妙な言葉が大流行。しかし、38歳の独身男石黒万造(小手伸也)が住む寂れた港町には若い女がほとんどいないから、万造の結婚願望はかなりのもの。

本作では、そんな万造がなぜ1人で一軒家に住み、毎日自分の船に乗って漁に出て網を曳いているのかについての説明は全くない。しかし、セリフが全くないまま映画の冒頭部分で紹介される万造の日常生活をみれば侘しさいっぱいだから、万造の結婚願望が痛いほど伝わってくる。また映画の設定では、万造の血液型はA型、性格は真面目で一本気、ロマンチスト、好きな食べ物はアメリカンドッグとコンビーフらしいが、これもスクリーンをみているとよくわかる。

面白いのは、万造だっておめおめと嫁取りレースの敗者になるつもりはなく、その意欲は満々なことが、万造が時々通うバーの中で見えること。彼の日常生活は黒のトックリセーターにジャージ姿だが、バーに行く時はズボンに履き替え、スウェードのウエスタンジャケットを着用。しかも、女を口説くためにはバラの花が不可欠とばかりにジャケットにそれを飾っているが、これは誰が見てもチグハグ。さて、そんな万造の演出によるナンパの成功率は？

思わず爆笑

主人公の万造が寡黙なこともあるが、本作の特徴はセリフが少なく、映像だけで観客に語りかけてくること。バーで出会った女に対して万造がバラの花をアクセントにして口説きにかかったのに、さらにその上をいくキザ男にさらわれてしまう姿も面白いが、私が思わず爆笑したのは集団見合いのための「自己紹介ビデオ」を観た時。ひとしきりの自由な飲食と話し合いが終わった後、全員注視の中で1人ずつの「作品」上映が始まったが、万造のビデオには正座しながら自己紹介している万造の背後の押し入れからその様子を眺めている美津子(宮本裕子)とまさお(広岡和樹)の姿が映っていたから、会場は爆笑の渦に。こりゃ一体ナニ？

周りは大爆笑だが、怒りが収まらないのは万造。そういえば、スーパーで買って冷蔵庫に入れていた好物のアメリカンドッグの数が減っていたような気がしたが、俺の留守中に家の中に入り込んでいたあの母子が？さて、そこで万造がとった行動とは？

思わぬ展開に友人たちは？万造は？

寂れた港の日常は同じことのくり返し。そして、会う顔も同じメンバーばかり。本作には万造と同世代の友人(?)3人が登場し、折にふれて含蓄のある哲学的な(?)コメン

トを提供してくれる。そんな友人たちは、あの万造がある日突然、見た目ちょっといい女と夫婦同然に連れ立って歩き始めたからビックリ。万造のおかげで母子心中を免れた(?)美津子は、万造からプレゼントされた赤いほっかむりを頭に巻いて喜んで万造の仕事の手伝いをしていたし、まさおも万造によくなっていた。そのため、それまで孤独だった万造は急に妻と子供が授かったような気持で毎日ウキウキと仕事に精を出していた。こんな姿を見ていると、やっぱり万造の血液型はA型だということを痛感!

しかし、「好事魔多し」とはよく言ったもの。不況の波が押し寄せる中、「私も働くわ」と食堂で働き始めた美津子の前に、サーフボードを持った長髪の若い男竜二(ダイヤモンド ユカイ)が現れたところから事態は急変していくことに。その男の食べっぷりにホレてしまった美津子は、その日を境に服装が派手になり化粧も濃くなっていったから大変。思わぬ事態に困惑した万造は、何とか状況を立て直そうと焦ったが……。

こんな男を騙すのはきわめて簡単?

本作のテーマは騙し。しかも、悪魔的な魅力を持った、いわば昔なら秋吉久美子のような(?)今なら米倉涼子のような(?)女による、万造のような単純な男の騙し?本作は09年1月の第38回ロッテルダム国際映画祭で上映されたが、上映中場内は笑いに包まれ、上映終了後観客はすっかり万造の魅力の虜になっただけ。

さらに、何とも印象的なラストシーンの解釈をめぐって質問が出されたらしい。それに対して、内藤隆嗣監督は考えられる解釈を3つあげ、同時に「そのどれであるか、想定するのは観客の自由である」と述べたらしい。したがって、本作のテーマは騙しだという私の解釈は、内藤隆嗣監督のそんな言葉に甘えた私なりの勝手な解釈だが、本作に登場する魔性の女=ファム・ファタール(?)の美津子を見ていると、つくづくそう思ってしまう。

町役場主催のお見合いパーティーに挑む万造を、来ていく洋服のことで騙す(?)のがファッションショップ店主(磨赤兒)なら、結婚願望の強い万造をトコトン騙す女が美津子。店主のあんなインチキトークにまんまと騙されて、シャツと上着を2セットも買って(買わされて)しまう万造なら、魔性の女美津子が万造を騙すことくらい、きわめて簡単?

さて、美津子はどんな風に万造を騙すの?そして、それは一体ナゼ?そんな女の業(?)とそれにもめげない万造の純情ぶりとの男の大きさは、あなた自身の目でじっくりと。

「灯り」いろいろ

プレスシートによれば、『不灯港』の出所は『不凍港』で、内藤隆嗣監督はもともと不凍港という寒々しい土地が舞台の映画にしようと思っていたらしい。しかし、残念ながら実際に不凍港と呼ばれる港は日本にはなくもっと極北だったため、仕方なく別のタイトルを考えたい。そんな過程の中、最終的にタイトルが『不灯港』となったのは一体ナゼ?

それは本作を観て、パンフレットを購入して確認していただきたいが、当て字にすぎない『不灯港』は意外にいいタイトル。「不灯」はもちろん否定形の表現だが、実はその裏には寂れた港町を照らす肯定形の「灯」という意味が込められていることが、本作をみているとよくわかる。ちなみに、言葉は正反対だが、これとよく似たイメージのタイトルが『街

の灯』。これは第1に、チャップリンファンには懐かしい1931年の名作のタイトル。そして、第2に1973年に発表され、堺正章が歌った名曲のタイトル。

「不灯」と「灯」はもちろん正反対の概念だが、本作における万造の生きざまをみると、それが共通語に思えてくるから不思議・・・。

2009(平成21)年6月17日記



「不灯港」

(今日からシネリーブル梅田で公開)



© PFFパートナーズ

こりゃ、婚カツ男性必見作!

然のまさおと仲良く魚をつづいている万造の箸に引っかけたものは？
この印象的なラストシーンをあなたはどの解釈？
橋口亮輔、矢口史靖らに続いてPFFスカラシップの権利によって監督デビューし、ロッテルダム映画祭に殴り込みをかけたのは内藤隆嗣。東京都立大理学部数学科卒の28歳がなぜこれほど深く女の性を、またユーモラスに男のカッコ良さを演出？ それは、無口で無

かつてロシア帝国は不凍港を求めて南下政策を進めたが、嫁募集中の38歳の漁師万造(小手伸也)の不凍港とは？ 肯定と否定は紙一重。チャップリンの名作「街の灯」(1931年)や堺正章の同名の名曲(73年)と対比しながらその意味を考えたい。

セリフなしで続く万造の意外に真面目な一人暮らし。真紅のバラを武器にナンパを仕掛ける様子が笑いを誘う。駆遣は、集団見合い用の自己PRビデオに映る子連れ女美津子(宮本裕子)との出会い。放り出したら母子心中？ そんな同情からまさお(広岡和樹)を含む奇妙な同居生活が始まるが、美津子を見た目も性格も意外にいい女？ 万造にもやっと至福の時

が到来？ しかし好事魔多しだ。若い男にホレた美津子はまさおを巻き込んで一芝居。万造から金を巻き上げ、プライと家を出ていったから大変。経済不況が襲う中、万造はいかなる生活再建を？

面白い小道具は、その発見で留守中の母子の侵入を確信してきた、美津子を使う魚形の髪留め。あれから半年。今や息子同

大阪日日新聞 2009(平成21)年8月1日